

お・も・て・な しんぶん

■吉舎おもてなしプランを行いました！～テーマは「吉舎でおもてなし」～



平成 30 年 11 月 10, 11 日に、広島大学短期交換留学生を学校に招いて、吉舎おもてなしプランを行いました。今回で5回目となりますが、留学生の数は過去最多の 50 名と、たくさんの留学生と内容の濃い交流をすることができました。「吉舎でおもてなし」のテーマの通り、多くの吉舎関係者の方々のご協力をいただきながら、中高生も留学生も大満足する内容となりました。

■1学年交流レク～昔遊び～

到着したばかりの留学生は、まずは1年生 80 名と交流しました。交流レクでは、福笑い、めんこ、折り紙といった昔遊びを高校生が留学生に紹介しました。高校生はこの時間のために、交流レクプロジェクトチームが中心となって内容を考案し、生徒が留学生に紹介できるように説明方法とその英語での表現方法を事前に準備しました。留学生が到着してすぐということでしたが、和やかな雰囲気でも互い緊張がほぐれたようでした。



■昼食会～吉舎・安田自治振興会とPTAのおもてなし～

留学生 50 名と1年生生徒 80 名、合計 130 人の昼食は吉舎自治振興会、安田自治振興会むつみ会、そしてPTA総務部の保護者でふるまっていただきました。ランチメニューはうどん、塩むすび、吉舎の名物山の芋コロッケ、鶏唐揚げ、きなこ餅などでした。これらの料理に留学生も「Oishii!」の反応で大満足でした。

また、吉舎自治振興会の方に、餅つき体験も行っていただきました。ほとんどの留学生が初めての体験で、1回1回杵を振り下ろすごとに、「Yoisho!」の掛け声が上がっていました。お餅の味も大好評でした。



平成 30 年 11 月 16 日

広島県立日彰館高等学校国際交流担当

グローバルな視野を持って
地域に貢献することができる！

■全体交流会～グループ活動でコミュニケーション～

全生徒参加の全体交流会を体育館で行いました。吹奏楽部のオープニング演奏で会場が一気に盛り上がりました。(特に、マンボの演奏では留学生もノリノリ!) その後、書道部のパフォーマンスを披露しました。「煌(きらめき)」と書かれた作品が仕上がっていく光景に、留学生も会場も引き込まれていました。

その後、生徒5～7人と留学生1～2人のグループに分かれて、広島大学国際センターの恒松直美准教授のご指導のもと、グループ活動を行いました。留学生の自己紹介スピーチでは、日本語を勉強している留学生が、緊張しながら一生懸命自分の国や大学で勉強していることについて日本語でスピーチしてくれました。

小さなグループに分かれて交流を行ったことで、全校生徒が留学生と近い距離でコミュニケーションを取ることができました。絵カードクイズでは「判子」や「爪切り」など英語での説明が難しいものについて身振り手振りを使って留学生に伝えることができました。



■吉舎街歩きガイド～吉舎の魅力を英語で伝える～

生徒2人と留学生1人の3人グループを基本にして、留学生に対して吉舎の魅力を伝えながらガイドする街歩きガイドツアーを行いました。生徒は夏休みからこの時間のために、時間をかけて準備をしてきました。まずは何を紹介したいか考え、グループで情報を共有し合い、それを冊子「おもてなしテキストブック」に英語でまとめました。また、実際に吉舎の町を歩きながらガイドのシミュレーションをし、改善点や、どんな会話や質問をしたらよいか、内容を考えました。本番に向けて、それらを英語で表現する練習をし、当日を迎えました。

街歩きガイドの生徒のミッションは、「留学生に楽しんでもらえるよう、自分から心を近づけ、笑顔で、英語で、話しかけるべし！」でした。不安と緊張もありながら、多くの生徒が積極的にコミュニケーションを取ろうとしたのが留学生にも十分伝わったようです。留学生の感想の多くに、「吉舎の町について知ることができてよかった。」とありました。約90分という長い時間を外国人の人と一緒に過ごすといった経験は、おそらくあまりないことでしょうが、こうした機会があればそれをやってしまう生徒の可能性は無限大です。

また、事前学習の際にご協力いただいた吉舎町の関係者の方々、どうもありがとうございました。



■文化体験～日本の心を感じる～

書道、茶道、年賀状作りの3つの中の1つを選び、留学生に日本文化を体験してもらいました。どれも日本ならではの文化で、作品作りに没頭する姿や、興味深そうに写真や動画を撮っている留学生の姿が印象的でした。

書道体験では書けば書くほど上達していき、最後に作った作品に皆満足していたようです。

茶道体験では慣れない正座に苦戦しつつも、日本の心を感じてもらえたのではないのでしょうか。

年賀状作りでは住所の書き方が日本と海外で異なるなど、活動をサポートした高校生にとっても発見の多い時間になりました。



■ホームステイ～See you!～

吉舎町内の小学校、中学校にも協力をしてもらい、合計 27 のご家族にホームステイを引き受けていただきました。1泊2日のホームステイは、留学生、ホストファミリーどちらもドキドキの対面式からスタートしました。

11日(日)の解散式では留学生から「最高に美味しい料理だった」「祭りに行って日本文化に触れることができた」「温かい時間をありがとうございました」、ホストファミリーからは「新しい家族が増えたようだった」「日本語は美しいと言ってもらえたのが嬉しかった」「また遊びに来てほしい」などの感想があり、充実した時間を過ごせたことがわかりました。

ホームステイでは心温まる時間を過ごしたようで、名残惜しそうにバスに乗って東広島に帰っていく留学生ばかりでした。

「See you HUSA students!! またね!!」



■おわりに～お礼～

今回の吉舎おもてなしプランは、吉舎地域をはじめとする、多数の関係者の方々の多大なるご協力のおかげで無事成功させることができました。ホストファミリーを引き受けていただいた方々、食事をふるまっていた方々、文化体験にご協力をいただいた方々、事前学習でご指導いただいた方々など、様々な面でご協力をいただきありがとうございました。「吉舎でおもてなし」をテーマとしていましたが、留学生にとっても生徒にとっても、吉舎のことがもっと好きになる機会であったと思います。今後ともどうぞよろしくお願いします。